

## 湾外避難等の勧告発出に係る時系列（想定）

時間経過	
台風シーズン前	台風等対策協議会の開催 ・連絡系統等の確認
台風発生 強風域到達 2～3日程度前	台風等対策協議会の開催 ・湾外避難等の勧告発出の必要性 ・発出時期
強風域到達 2日程度前	湾外等安全な海域への避難の勧告の発出（本部長）
強風域到達 数時間前	重要施設周辺海域における錨泊自粛、走錨対策強化の勧告発出（本部長） 異常気象時の情報提供開始 バーチャル航路標識の一時表示開始（海上保安庁が施設管理者から受託した場合） 港外避難の勧告発出（港長）（湾外避難の対象以外の船舶）
強風域到達	
台風通過後	勧告の解除 異常気象時の情報提供の終了 バーチャル航路標識の一時表示の終了

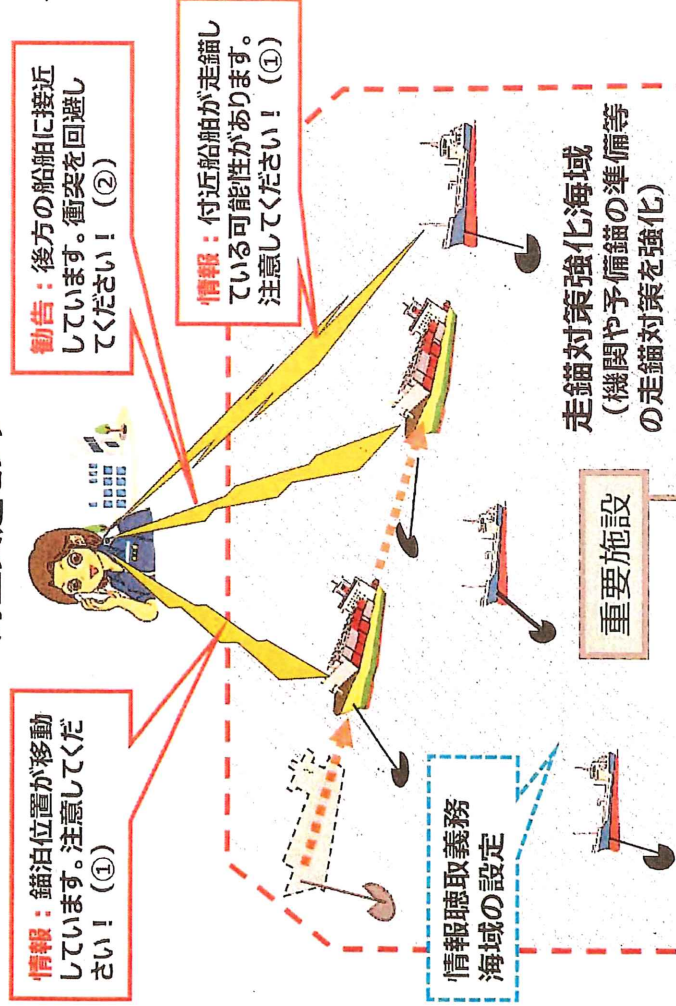
【課題】航路及び航路周辺海域を航行する船舶に対し、情報提供や勧告を行う制度はあるが、他の海域にはなく、また錨泊船舶にも適用されない

➡ 「重要施設周辺海域等における海上交通安全センターによる情報提供、危険回避措置の勧告制度」を創設する

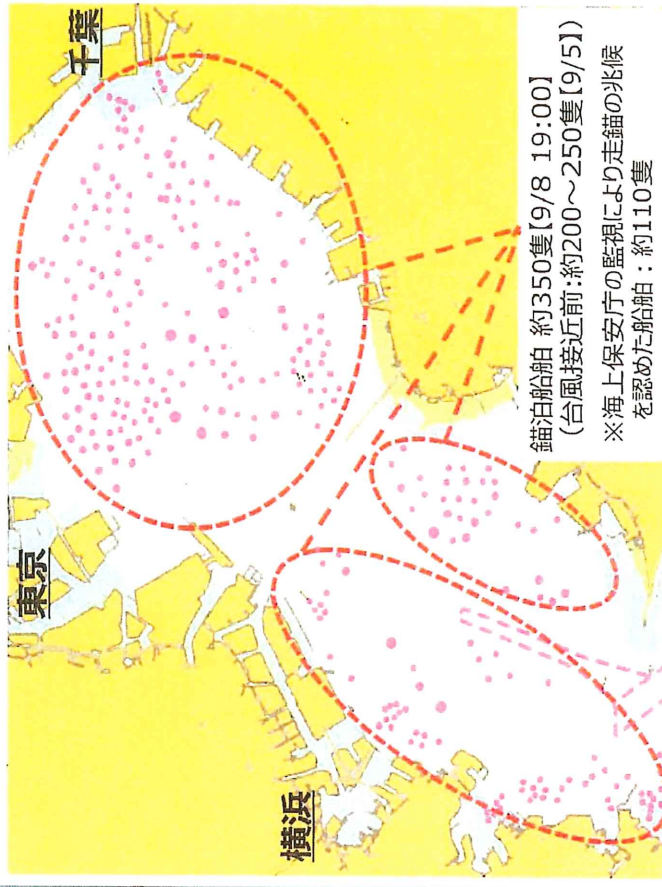
【制度のイメージ】

- ① 走錨のおそれなど事故防止に資する情報を個別の錨泊船舶等へ提供
- ② 船舶同士の異常な接近等を認められた場合に、当該船舶に対し危険の回避を勧告
- ③ 一定の海域において錨泊、航行する船舶に対し、①の情報聴取を義務化 等

海上交通安全センター

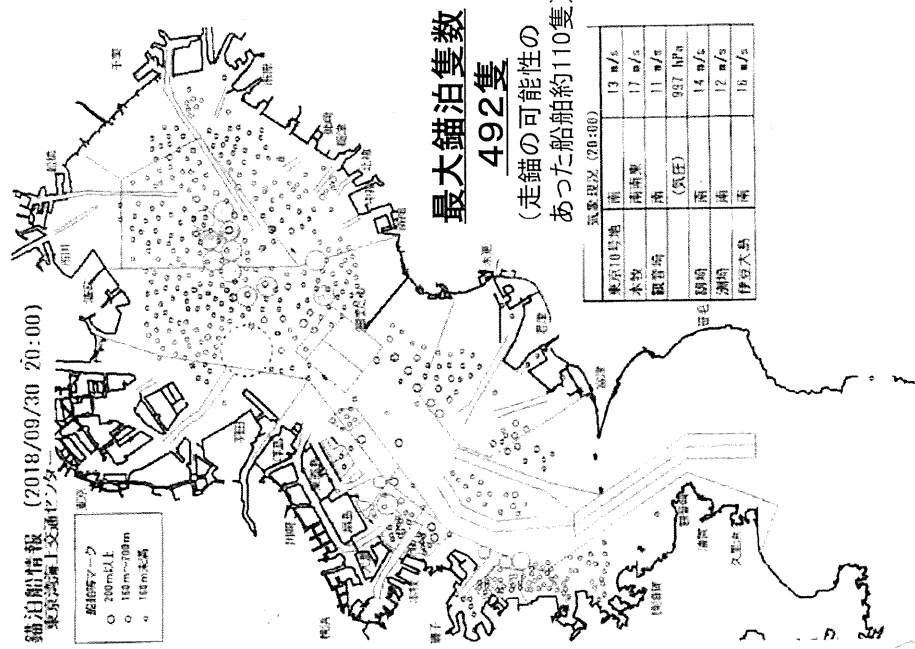


令和元年台風15号来襲時の東京湾における船舶の錨泊状況

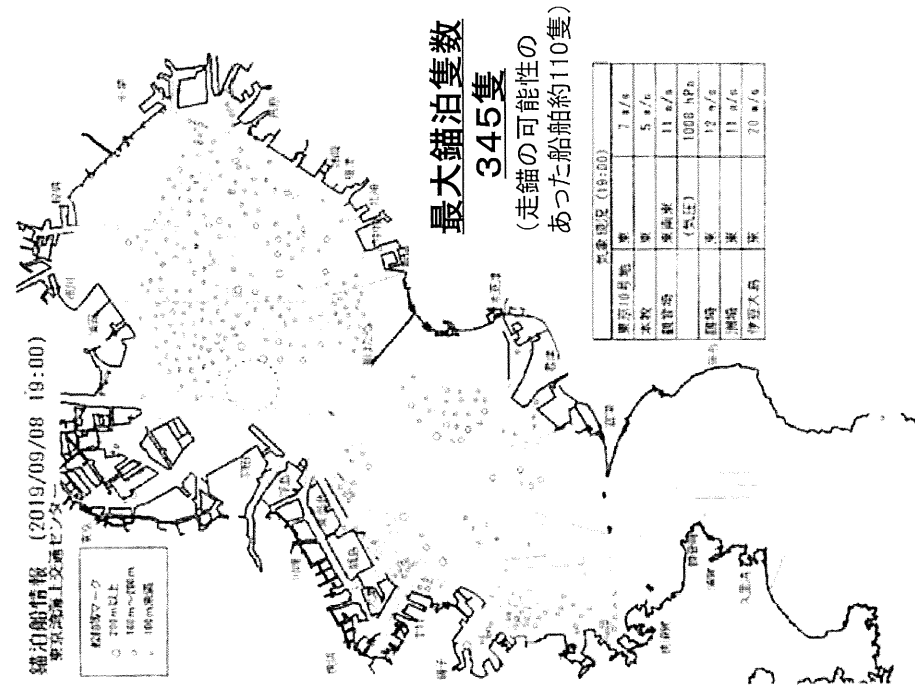


# 東京湾における錨泊隻数について

平成30年9月(台風24号)



令和元年9月(台風15号)



令和元年10月(台風19号)

